

はじめに

金剛地区は高度成長期に開発され、閑静でゆとりのある戸建住宅と西日本で最大規模のUR賃貸住宅を有する、都市基盤の充実した誰もがあこがれるまちとして成長を遂げてきました。

しかしながら、開発後約半世紀が経過し、近年では、人口減少や少子高齢化、また施設の老朽化が進むなど、さまざまな問題が顕在化しております。

富田林市の西の玄関口として、本市の成長を支えてきた金剛地区の活力低下は、今後の本市の発展に影響を及ぼすことも懸念されることから、新たな活力と魅力の創造による、安全・安心で快適に暮らし続けることができるまちづくりが求められているところです。

こうした状況を踏まえ、住民、地域団体、事業者等、さまざまな立場の方々との議論を重ね、このたび策定いたしました「金剛地区再生指針」は、当該地区にかかわる全ての人が共有するビジョンとして、目指すべきまちの将来像やその実現に向けた取組の方向性などについて取りまとめています。

この指針を基に、誰もがまちづくりに何らかの役割を担い、協力して再生に取り組むことで、金剛地区の輝きが一層増すことを期待しますとともに、本市といたしましても、住民等が主体となった地区再生・活性化の取組を積極的に支援し、共に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、金剛地区再生指針策定協議会委員の皆様をはじめ、本指針の策定にご協力をいただきました全ての皆様に、心から感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

富田林市長 **多田 利喜**

目 次

第1章	金剛地区再生指針とは	1
(1)	背景と目的	1
(2)	再生指針の位置づけ	2
(3)	計画期間	4
(4)	富田林市の他計画との関係	5
第2章	金剛地区の魅力と課題	7
(1)	コミュニティ・地域活動	7
(2)	住宅・住宅地	9
(3)	道路・公園	10
(4)	交通	11
(5)	生活サービス	12
(6)	周辺地域	12
第3章	金剛地区の目指す将来像	13
(1)	まちの将来の目標像	13
(2)	実現を目指す「まち」と「暮らし」の姿	14
第4章	将来像の実現に向けた取り組み項目	15
(1)	地域の連携による「サービス」と「支え合い」の展開	16
(2)	多様な「住まい」の供給・流通の促進	25
(3)	豊かで多機能な「空間・施設」の充実	28
(4)	まちを運営する「仕組み」の構築	36
第5章	金剛地区再生の実現に向けて	39
参考資料 1.	策定の経緯	参考-1
参考資料 2.	用語の解説	参考-9